令和4年度第2回大阪府消防団充実強化研究会

日時：令和4年9月29日（木）17時25分から

場所：大阪府新別館北館１階　災害対策本部会議室

参加：名簿のとおり

* 座長挨拶
* メンバー紹介

議題（１）調査研究ワーキンググループの活動報告

* 事務局より、資料１から資料３を用いて説明を行い、内容に関する補足説明を行った。
	+ 府民1,000名に対し、消防団の認知度、消防団への入団意向等についてアンケート調査を行った。
	+ アンケートの結果、消防団の認知度は全体で6割であった。また、男性は女性に比べて認知度が高く、40歳代以上の府民は30歳代以下よりも認知度が高かった。
	+ 防災情報を取得している人、ボランティア活動や地域防災活動に参加したことがある人は、そうでない人に比べ、消防団の認知度が高かった。
	+ 消防団への入団意向は全体で4.7%であった。また、消防団を認知している人はそうでない人より入団意向が高かった。
	+ 消防団員943名に対し、消防団を知ったきっかけや入団を決めた要因、消防団の認知度向上のため必要な広報活動や内容についてアンケート調査を行った。
* 座長より、以下の提案を行い、承認された。
	+ 今後、消防団の認知度を向上させ、将来の団員確保につなげていくためには大阪府として、認知度の低い女性や30歳代以下の若年層に対して防災情報の取得などの手段を検討して広報を行っていく。
	+ 加えて、誰もが手軽に見ることができる広報グッズの活用などの手法も、消防団の認知度を向上させるために検討する。
* 参加者より、以下の意見が出された。
	+ 今のところコロナ禍の影響で消防団の活動ができていない状況。コロナ禍が明けるのを待って、消防団としても住民の方々にアピールする機会を増やしていければと考えている。
	+ アンケート結果（資料1参照）を見ると女性や若年層に広報を行っていくという方向性が出ている。今後広報をどのように進めていくのかが重要。
	+ 若年層に対しては学生消防団活動認証制度があるので、このような制度も広報していけばよいと感じた。能勢町さんが、大阪府消防大会に地元消防団が出場されたことを写真付きで町の広報誌に掲載していたが、広く町民の方に知らせるというのはよいPRだと思うで、参考にすべき。
	+ アンケート結果にはないが、女性に対しては、女性団員自ら「一緒にやりませんか」と声をかけることが入団につながる。アンケートでも、防災情報を取得している人の方が消防団の認知度が高いという結果も出ていることから、事務局提案のとおり女性にアプローチしていくのがよいだろう。
	+ 近年は被雇用者の消防団員が多いことから、企業に対して何らかのアプローチ、例えば消防団に加入していただきたいという趣旨の文書を大阪府が企業に対して出してはどうか。
	+ 女性と若年層の認知度が低いということであれば、そういった方々が普段目にするであろうYouTubeや、雑誌や新聞などにターゲットを絞った広報を行う必要がある。女性や若年層が気付きやすいところに消防団を意識させるような工夫があると、認知度が上がりやすいと思われるので検討してみてはどうか。
	+ 消防団組織を充実強化させていくためには幅広い年齢構成は重要ですので、今までどおり一般的な広報は継続していくべき。女性や若年層をターゲットにするのはよいことだと思うが、行政と、女性や若年層の考え方にはギャップがあると考えられることから、例えばこの当研究会のワーキンググループなどに女性や若年層の方に参加してもらって意見を聞くべき。
* まとめ（座長）
	+ 今後、女性や若年層の認知度を上げていくために防災情報の取得や、その他いろいろな手法があると思いますが、広報戦略ワーキンググループで具体的に検討していきたい。
	+ また、今回の会議の内容については府内市町村にも共有していきたいと考えていますので、市町村におかれましても、地域事情に応じた効果的な取り組みの検討をお願いしたい。

議題（２）広報戦略ワーキンググループについて、議題（３）今後のスケジュールについて

* 事務局より、資料４及び資料５を用いて説明を行い、内容に関する補足説明を行った。
* 座長より、以下の提案を行い、承認された。
	+ 今後、広報手段を検討していく中で、女性の団員や若手団員に参画いただくというのは重要なことであり、消防団のご協力をお願いしたい。
	+ 昨年度もやりました研究会のイベントについては来年の２月に開催する方向で考えている。昨年度はWEB配信という形でさせていただいたたが、今回はできれば集合形式で開催できればと考えている。
* 参加者より、以下の意見が出された。
	+ 資料４に女性及び若年層に向けた広報手法の検討とあるが、YouTubeは大体6,500万人が利用しており誰でも見られると思うことから、これについてはYouTubeを活用したらよいと思う。ワーキンググループでも「こんなことをやっていますよ、出初式はこんな感じですよ。」という感じで、YouTubeを活用した議論をしていただければと思う。

その他

* 事務局より、資料５を用いて説明を行った。

以上